

# おのの議会だより

No.216

令和3年10月25日



全国高校総合体育大会自転車競技〔伏石地係〕（8月23日開催）

## 主な内容

9月定例会の概要	2～3ページ
一般質問の概要	4～9ページ
常任委員会審査報告	10・11ページ
議案等の審議結果	11ページ
特別委員会報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



### 発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

### 編集：議会だより編集委員会

## 9月定例会の概要

第425回定例市議会は、8月30日から9月16日までの18日間の会期で開催されました。  
 今回の定例会では、令和3年度の一般会計補正予算案、条例の制定、市道路線の認定、人事案件など、全15議案のほか、陳情1件、議員提出の市会案3件について審議しました。  
 審議結果は、11割のとおりです。

介護保険事業特別会計では、介護保険指定事業

### 特別会計補正予算

所の各種情報をデータ管理するためのシステムの導入や、要介護認定調査に利用するタブレット端末の導入に係る経費などによる増額が主なもので、農業集落排水事業特別会計では、令和2年度事業の確定に伴う精算等による増額が主なものです。

### 議長に松田氏、副議長に高田氏

本定例会において、梅林議長、堀田副議長の辞職に伴う選挙を行い、議長に松田氏、副議長に高田氏を選出しました。

産経環境常任委員長に川端氏、教育民生常任委員長に廣瀬氏、副委員長に野村氏を新たに選出するとともに、議会運営委員会委員と未来へつなぐまちづくり特別委員会委員の補充を行いました。

また、大野・勝山地区広域行政事務組合議会の議員の補欠選挙で白崎氏を選出しました。



高田 育昌 副議長  
(第57代)



松田 元栄 議長  
(第46代)

### 令和3年度大野市一般会計補正予算（第5号） 4億1447万円を追加（議案第76号）

可決

補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
新型コロナウイルス感染症対策に要する経費に充当するため政務活動費の2分の1を減額	△432万円	1330万円
議会にペーパーレス会議システムを導入する経費	182万円	182万円
議会のペーパーレス会議システム導入に対応するため、また、庁内のペーパーレス化に取り組むためWi-Fi環境及び端末等を整備する経費	7760万円	1億2742万円
民間の認定こども園が行う保育業務支援システムの整備を補助する経費	75万円	75万円
エネルギー使用量の大きい設備を有する市施設の省エネ診断を受診する経費	7万円	507万円
ゼロカーボンシティ実現に向けて脱炭素ビジョンを策定する経費	623万円	623万円
農業者が農業経営収入保険加入時に負担する保険料の一部を補助する経費	420万円	420万円
市内の登録店で使えるプレミアムお買物券を追加発行する経費	2561万円	6844万円
ファミリーリゾート休養施設「うらら館」の木質バイオマスボイラの導入を検討する経費	396万円	396万円
旧大野簡易裁判所を解体し広場を整備する経費	4395万円	4395万円
節水効果の高いシャワーヘッド等の交換に係る材料の購入を補助する経費	252万円	372万円
救急業務に使う新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を購入する経費	53万円	339万円
文化会館の和式トイレを洋式トイレに改修する経費	770万円	3734万円



## コロナ禍でコメの需給が悪化

# 国に米価下落対策を求める

### ▼コロナ禍における米価下落対策を求める意見書について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国産米の消費減少に歯止めが掛からず、過大な在庫が生じており、昨年に引き続き米価下落が現実味を帯びてきています。

長期間にわたる米価下落が続けば、小規模農家だけでなく大規模経営の生産農家も経営圧迫によりコメ作りから撤退することにもつながりかねず、農業農村の将来も危ういものとなります。

コロナ禍で危惧される米価下落に歯止めを掛け、需給環境を改善するためにあらゆる手段を講じることがを国に強く求める「市会案第9号 コロナ禍における米価下落対策を求める意見書について」を全会一致で可決しました。

### ▼コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

### ▼地方財政の充実・強化を求める意見書について

新型コロナウイルス感染症のまん延により、新たな行政需要、地域の防災・減災、地球温暖化対策、公共施設の老朽化対策など、地方財政は来年度においても、引き続き巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。このことから、「市会案第7号 コロナ

ナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について」、「市会案第8号 地方財政の充実・強化を求める意見書について」をそれぞれ全会一致で可決しました。

以上の3件の意見書を内閣総理大臣、政府関係機関、地元選出国會議員に提出しました。

## 条例の制定等

大野市新型コロナウイルス

### 又感染症伴走支援資金利子補給金基金設置条例

福井県新型コロナウイルス感染症伴走支援資金の融資を受けた市内中小企業者の利子補給に要する経費の財源に充てるため、令和7年度末までの基金を設置しました。

### 大野市立農村集落多目的共同利用施設設置条例の一部を改正する条例

下山地区集会施設の廃止に伴い、所要の改正をしました。

### 大野市木材工芸品加工施設

設置条例を廃止する条例  
大野市木材工芸品加工施設を廃止しました。

## その他の議案

### 市道路線の認定について

日常生活に重要な役割を担う新庄12号線を市道路線に認定しました。

## 人事案件

### 固定資産評価審査委員会委員の選任について

永田由美子氏（新庄）

を兼任することに同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦について  
松井滋明氏（上野）を推薦することに同意しました。

## 陳情

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について  
自治労福井県本部執行委員長 橋岡克典氏からの陳情は、採択となりました。

## 決算特別委員会

令和2年度の大野市歳入歳出決算等の審査を行うため決算特別委員会を設置しました。本会議において各会計の決算議案が決算特別委員会に付託され、10月4日から8日にかけて審査を行いました。

### 決算特別委員会委員

委員長	堀田 昭一
副委員長	林 順和
委員	廣瀬 浩司
委員	木戸屋 八代実彦
委員	松本 嘉彦
委員	野村 勝人
委員	川端 義秀
委員	畑 中章男

### 付託議案

議案第85号	令和2年度大野市歳入歳出決算認定について
議案第86号	令和2年度大野市水道事業会計の決算認定について
議案第87号	令和2年度大野市簡易水道事業会計の決算認定について
議案第88号	令和2年度大野市下水道事業会計の決算認定について

# ゼロカーボン・原発についてどのように考えるのか



日本共産党大野市議員  
野村 勝人 議員



## 国の原子力政策を尊重しつつ、ゼロカーボンシティ実現に向けて取り組む

**問** 太陽光発電や蓄電池、電気自動車や蓄電池として使うV2H、木質バイオマスのストーブやボイラ等の設備の設置及び薪やペレットの購入、地中熱を利用して空調や融雪を行う装置など、ゼロカーボンの取り組みを行う事業所、農業施設、住宅などに、市独自で助成を行っているかどうか。

**答** 助成の実施については、今後、脱炭素ビジョンを策定する中で、具体的な施策を研究していくとともに、企業、団体、個人などと協力しながら、脱炭素に向けた行動変容を促進していく。

**問** 菅自公政権は脱炭素を口実に、原発頼みのエネルギー政策を加速させようとしている。本市がゼロカーボンシティを目指すに当たって、福島第一原発のような事故が発生した場合、市民に大きな影響をもたらすが、原発再稼働、新設について、どのように考えるのか。

**答** 国の原子力政策を尊重しつつ、ゼロカーボンシティ実現に向けて取り組んでいくが、安全性の確保を大前提として、万が一の気象災害、地震、津波災害及び原子力災害、その他の災害が発生した場合に備え、平成24年8月に高浜町と災害時相互応援協定を締結した。協定に基づき、嶺南地域と相互に応援協力し、応急措置を実施することで、災害時の対応に努める。



高浜発電所

一般質問

# 子どもたちを新型コロナウイルス感染から守るために、学校ではどのような対策をしてきたのか



無党派  
松本 嘉彦 議員



## 新型コロナウイルス感染防止対策要領に基づき子どもたちを守ってきた

**問** 12歳未満の子どもたちを新型コロナウイルス感染から守るために、学校ではどのようなことをしてきたのか。

**答** 令和2年5月26日に策定した小中学校における新型コロナウイルス感染防止対策要領に基づき、子どもたちを守る対策を行っている。対策要領では、毎日の検温や手洗い、消毒、マスク着用などの学校における感染対策、換気の徹底や身体的距離の確保などの集団感染リスクへの対策、授業や給食時の対策、学校行事の実施などの学校生活全般における対策を示している。

この対策要領は状況の変化に合わせて、改訂してきた。現在は、令和3年4月に改訂したバージョン4を基に、各学校では、県内や市内の感染状況に応じて感染対策を取っている。例えば、グループ学習、リコーダーや合唱の授業、理科実験などの時期の変更、児童会活動や掃除などの縦割り活動の自粛などの感染防止対策を取ることで、集団感染が発生しないように努めている。

**問** 家庭への啓発活動をどのようにしてきたのか。

**答** 市報や市ホームページ、公式LINEにより新型コロナウイルス感染症に関する予防対策について情報を発信している。今後もし引き続き、子どもたちを新型コロナウイルス感染から守るための情報発信をしていく。





# 「生理の貧困」支援として、生理用品を公共施設や小中学校などの女子トイレに配置してはどうか

## 自立相談支援センター「ふらっと」に生理用品を提供する体制を整えた



新風会・公明

伊東由起恵  
議員



**問** 大野市小中学校再編計画の説明会を通して、浮き彫りになった問題への対策は。

**答** 児童・生徒の登下校については、スクールバスの運行経路や便数、時刻において、保護者や学校と十分協議していく。体操服などの学用品についても協議の上、教育委員会として、再編の先行事例を参考に支援していきたい。

**問** 女性の相談支援について、さまざまな悩みに対し、電話で相談というのは若い人たちにとってハードルが高い。公式LINEなど、SNSでの緩い相談窓口こそ必要なのでは。

**答** 入り口を広くした案内窓口を作って、匿名性を持ったまま相談していただき、十分な支援の対応をしていくことが有効。公式LINEなどのSNS

Sを活用した相談窓口の設置についても、検討していきたい。

**問** 「生理の貧困」支援として、生理用品を公共施設や小中学校などの女子トイレに配置してはどうか。また、ひとり親家庭や希望する方に無償配布することで、経済的負担の軽減になるのでは。

**答** 現時点では、経済的に困窮して生理用品が買えないとの相談は受けていないが、課題の解決に向け支援を行う必要があることから、自立相談支援センター「ふらっと」に生理用品を提供する体制を整えた。市内の小中学校では保健室に生理用品を配置し、要望に応じて配布している。児童・生徒には、遠慮なく申し出ることで必要なだけもらうことができる、改めて周知した。

# 機構改革による事務事業への評価は

## 子育て世代が安心して育児や教育ができる環境の整備に向けた体制が整った



新風会・公明

白崎貴之  
議員



**問** 機構改革による事務事業への評価は。

**答** 特に子ども分野に係る機構改革は、切れ目のない支援を行い、子育て世代が安心して育児や教育ができる環境の整備に向けた体制が整った。

**問** 機構改革後の業務継続計画の見直しは。

**答** 年度当初には、機構改革に合わせて、地域防災計画の応急業務に関する組織体制や事務分掌について見直しを行い、合わせて業務継続計画の見直しを行った。

**問** 連携協定の今後の締結方針は。

**答** 本市の行政課題の解決のため、地域ネットワークを生かした安全安心な暮らしの実現に関することや災害時の対応に関すること、ニューノーマルへの適用に関することなど、第六次大野市総合

計画の六つの基本目標の実現に必要な分野に効果的な連携を進め、持続可能なまちづくりに取り組んでいく。

**問** RPA<sup>①</sup>の導入による効果は。

**答** 行政区への補助金の支払い業務など四つの業務についてRPAの導入を検証し、年間約90時間を削減する効果になるものと見込んでいます。

**問** 職員研修の具体的な取り組み状況及び計画は。

**答** 職員倫理などの全職員に浸透させる必要がある研修は、開催回数を増やすことや、実施方法を工夫し実施。その他研修についても、研修内容について充実を図り、人材育成基本方針に定める「市民に信頼され、ともに行動できる職員」の育成に努めていく。

①RPA:「Robotic Process Automation」の略語で、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するものです。

# 通学路の安全対策の状況は

## 関係機関とともに合同点検や対策の実施を繰り返し、安全性向上を図っている

**問** 本年6月28日に千葉県で、下校中の児童の列にトラックが突っ込み、男女5人が死傷する痛ましい交通事故が発生した。これまで実施した通学路の安全対策の状況は。

**答** 学校や保育園等から報告のあった危険箇所について、通学路等安全推進会議において関係機関とともに合同点検、対策の実施を繰り返し、継続的に通学路及び園外活動箇所の安全性向上を図っている。違法駐車等の対策についても、情報共有し、対策を議論する。

**問** 通学路等のブロック塀除去事業補助の利用状況は。

**答** 通学路にある危険なブロック塀について、補助制度を活用して1カ所、自費で4カ所が除去された。通学路以外では、7カ所の除去を補助している。

**問** 令和2年度に大野市国土強靱化地域計画が策定された。高度成長期に集中的に整備されたインフラについては、今後加率的に老朽化が進行する。現在の取り組みは。

**答** 国土強靱化地域計画を5年間で着実に推進するため、重点業績評価指標を定めて進捗（しんちよく）管理している。道路や橋などの社会インフラについては、長寿命化修繕計画に基づき、道路橋に加えて、今年度から道路舗装や街路樹、道路照明灯なども点検や診断、補修補強を計画的に実施していく。

平成12年から中止されている赤根川の改修については、九頭竜川水系河川整備計画の計画区間にも位置付けられているので、県とともに地元説明を再開している。



清風会

ながた まさゆき  
永田 正幸 議員



一般質問

# 旧大野簡易裁判所跡地の今後の利用は

## 建物解体後、緑地整備を行い市民・来訪者の憩いの場とする

**問** 議案第76号一般会計補正予算、湧水地散策広場整備事業の内容は。

**答** 旧大野簡易裁判所の解体工事と工事監理業務委託、整備に必要な敷地全体の測量、来年度に行う広場の整備工事の詳細設計に係る経費を計上している。

**問** 新副市長は土地所有者と協議をしたのか。

**答** まだ行っていない。

**問** 旧大野簡易裁判所跡地をどのように利用するのか。

**答** 建物解体後、緑地整備を行い、市民、来訪者の憩いの場とする。

**問** 大野市民俗資料館移設の話は白紙と捉えればよいのか。

**答** 大野市民俗資料館は老朽化しており、何らかの対策は講じなければならぬ。土地所有者との交渉も進め、そこにあるべきか移すべきかの検討段階まで踏み込めていない。

**問** 平成元年に市内のクリーニング店から土壌に流れ出たテトラクロロエチレン。現在も大量の地下水を揚水して除去作業をしている。秦野市は5年くらいで除去作業終了。もっと早く解決すべきでないか。

**答** 地下水を汲み上げ希釈する対応しかないと考える。

**問** 市長の立てた予算案が議会で否決されることをどのように受け止めているか。

**答** 大変重く受け止めている。今後はそのようなことがないように取り組む。



地下水揚水の現場



無会派

うめばやし あつこ  
梅林 厚子 議員





# 大野市環境基本計画の 令和元年度目標未達政策は

生活雑排水の汚水処理の必要性に対する市民の意識は  
まだまだ低く、水洗化率の向上には至っていない



清風会

ひろた

憲徳

議員



**問** 気候変動問題の解決に向けた脱炭素社会を実現するに当たり、本市の温室効果ガスの排出量、吸収量の状況と、脱炭素先行地域に選出されるメトリットについて伺う。

**答** 排出量30万トから吸収量19万トを差し引いた11万トのCO<sub>2</sub>を削減しなくてはならない。脱炭素先行地域に選出されるメトリットとしては、地域が脱炭素対策を検討し進めていくに当たり、特に、意欲的に取り組み、地方自治体や事業者等を集中的、重点的に支援するため、国では、資金支援の仕組みを抜本的に見直し、複数年度にわたって継続的かつ包括的に支援するためのスキームが構築されると聞いている。

**問** 令和3年3月に策定された第3期大野市環境基本計画について、令和元年度の年次報告における基本的政策の目標未達政策に対する取り組みについて伺う。

**答** 第2期計画に掲げていた全23項目のうち、令和元年度実績値で目標を達成していないのは8項目。そのうち生活排水処理率、いわゆる水洗化率は、目標値を65・4割としていたが、令和元年度の水化率は56・3割にとどまっている。

特に、公共下水道の水化率は、令和3年4月1日時点で37・3割と、農業集落排水事業の水化率94・6割と比較すると低い状況にある。

公共下水道の加入促進として、これまで職員による戸別訪問などを行ってきたが、台所や洗濯、風呂など生活雑排水の汚水処理を行うことの必要性に対する市民の意識はまだまだ低く、水洗化率の向上には至っていない。

# 市民がすぐにできるごみの減量化、 省エネにどのように取り組んでいくのか

市民目線での意見を反映し、今後の施策の展開  
につなげる



未来おのの

きとややよ

実

議員



**問** 子どもたちに対する新型コロナウイルス感染症対策について聞く。子どもたちと教職員などへのワクチン接種状況はどうなっているのか。

**答** 12歳から18歳までは、10月末までに約66割が接種できる見込みである。教職員や保育士等は、9月1日現在で、1回以上の接種済みと予約済みを合わせると90割を超えている。

**問** 臨時休業などで児童生徒が登校できない場合に、配備されたタブレット等のデジタル機器をどのように活用するのか。

**答** 家庭のWiFi環境について調査した。環境がない家庭にはLTE端末の貸与で対応する。オンライン授業の試行は、9月中旬から開始し、10月中旬に概ね完了する。

**問** カーボンニュートラルに向けて、市民一人一人がすぐにでも取り組める、ごみの減量化、省エネ活動についてどのように取り組んでいくのか。

**答** 市民団体や事業者などの代表で構成されている大野市総合計画・総合戦略推進会議のごみ減量部会において、食品ロスの削減、雑紙の分別回収をテーマに検討を進めている。市民目線での意見を反映し、今後の施策の展開につなげる。CO<sub>2</sub>排出量削減につながる商品(省エネ家電、再生可能エネルギー設備など)を市民に薦める事業者として、「結のエコ協賛店」を募集している。

**問** リサイクル率を上げることにしているのか。

**答** 紙ごみの分別の徹底を進め、プラスチック資源のリサイクルについても取り組んでいく。

一般質問

# お買物券のプレミアム率が、昨年度の50%から今年度は20%に下がった要因は



新風会・公明  
ひろせ 浩司  
議員



昨年度は、コロナがまん延し、初めての脅威ということで、高いプレミアム率で商品券を発行した

- 問** 2年続けてプレミアムお買物券を販売した。昨年度のお買物券の販売状況は。
- 答** 7500円分の商品券セットを5000円で購入できる「がんばれ大野地域応援券」を4万3273セット販売した。
- 問** 今年度の販売状況は。
- 答** 6000円分の商品券セットを5000円で購入できる「プレミアムお買物券」を8月末までに1万3543セット販売した。
- 問** プレミアム率が、昨年度の50%から今年度は20%に下がった要因は。
- 答** 昨年度はコロナがまん延し初めての脅威ということなどで、高いプレミアム率で応援券を発行。今年度は、コロナ禍でも、ある程度の経済活動が行われていることを考慮して、プレミアム率を下げた。
- 問** 9月補正で、お買物券を追加発行するようだが、なぜ同じような施策を2回続けるのか。
- 答** 県独自の緊急事態宣言が発令されて、消費がまた停滞すると予想されることから、追加発行することで、さらなる消費喚起を狙った。
- 問** 本年6月に商工会議所が行ったアンケートによると、製造業、宿泊業、飲食業の6割以上の業者で売り上げが減少している。2回のお買物券を出すことによって、飲食業には効果があるということだが、製造業、宿泊業の方に対して、さらなるコロナ対策の支援策を出す予定はあるのか。
- 答** 製造業の方には借入金、金の利子の補給を、宿泊関係には宿泊された方に観光振興のクーポン券をお渡ししていく。

一般質問

# 沖縄戦の遺骨を含む土砂を辺野古新基地に使用することについて



日本共産党大野市議員団  
まさお 正夫  
議員



国が進める事業で、承知していない

- 問** 市長は、今9月議会の提案理由説明で、8月18日に大野市戦没者の追悼式を挙行し、先の大戦の犠牲者に思いをはせ、平和の誓いを新たにし、命の大切さ、平和であることの尊さの認識とともに、戦争の歴史を正しく後世に伝えていく機会を得たと述べられている。沖縄県にある「平和の礎（いしじ）」の思いとも共通するものがある。福井県からの刻銘者数も1184人と聞いている。また、大野市はかつて、沖縄県の読谷村（よみたんそん）とも交流があり、市職員を派遣していた。距離的には遠い自治体ではあるが、ご縁においては、身近な沖縄県である。その沖縄本島南部の沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を名護市辺野古（へこの）の新基地の埋め立てに使用する計画が表面化している。人道的にも計画をやめてほしいと願わずにはられないので、市長の見解を伺う。
- 答** 辺野古新基地の埋め立てについては、沖縄県内において、国が進めている事業であるので、その土砂の調達先や取り扱いについて承知していない。
- 問** 沖縄防衛局も現地では、質問しても「答えない」手法を取っていることは知っていたか。
- 答** 報道等のニュースで確認している。



平和の礎（沖縄県）



# 永平寺町や高浜町のように、給食費を無償化してはどうか



## 本市の3人っ子給食費助成事業は、県内トップクラスの支援策となっている

無会派

ダニエル益資 議員



**問** 文部科学省のレポートに、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革というものがある。そこには、部活動が教師の献身的な勤務に支えられており、もはや持続可能な状態にあるとは言えないと書かれているが、本市でもそういった状況なのか。

**答** 現時点で、持続可能な状態にないというところまではいつていないものと考えている。教員の献身的な努力や、その勤務状況によって支えられているというところは間違いない。

**問** 文部科学省の求める月45時間以下の残業時間について、今の段階でかなり無理があると認識しているのか。

**答** 45時間ということになれば、やはり定数改善であったり、地域への部活動の移行であったり、小学校でも同様であるが、そういった抜本的な改革が必要である。

**問** 高浜町や永平寺町では学校給食の無償化を実現している。県内一の子育てしやすいまちを実現するなら、本市も給食の無償化に向けて取り組むべきだと思うが、市の見解は。

**答** 本市では、若い人たちが大野に住んで、結婚して、子育てしたくなるよう、若者支援や子育て支援を「大野ですくすく子育て応援パッケージ」として取りまとめている。本市が実施する「3人っ子給食費助成事業」は、第3子以降の学校給食費を全額補助するものであり、県内トップクラスの支援策となっている。今後、妊娠から学童期、若者、保護者まで、子どもたちの成長過程に沿った支援をお届けするため、より効果的な子育て支援策の充実に努める。

一般質問

### 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。

請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。

定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ② 提出年月日、提出者の住所・署名又は記名押印
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名又は記名押印（1人でよい）

### 12月市議会定例会のお知らせ

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。

日程は、予定のため変更になる場合があります。

本会議と常任委員会の開会時間は午前10時を予定しています。人口減少対策特別委員会の開会時間は午前10時、未来へつなぐまちづくり特別委員会の開会時間は午後1時を予定しています。

なお、開会前の会議等により遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。（☎0779-64-4830）

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
	本会議 (開会)					
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	常任委員会 (産経環境)	常任委員会 (教育民生)	常任委員会 (総務生活)	
12	13	14	15	16	17	18
	特別委員会 (人口減少対策) (未来へつなぐ まちづくり)			本会議 (開会)		

産経環境

(川端委員長、伊東副委員長、白崎、松本、松田、畑中)

観光施設二酸化炭素排出抑制対策事業

◎理事者の説明

脱炭素社会の実現に向け六呂師高原にある温浴施設「うらら館」において、木質バイオマスボイラの導入の可能性を調査



トロン温浴施設「うらら館」

ども取りまとめていく。  
**◎委員の意見**  
 大野から福井へのマイカー通勤者が多く見られるため、越美北線を利用し通勤することで、二酸化炭素の排出量が削減できるの、ゼロカーボンの視点も念頭に利用促進を検討されたい。

**◎委員の意見**  
 大野市版小規模事業者持続化補助金  
**◎理事者の説明**  
 国の小規模事業者持続化給付金は、新たな販路開拓や生産性向上に取り組み小規模事業者を支援するものであるが、今回の補正予算案は、国において不採択となった事業者を市が補助するものである。

**◎委員の意見**  
 国で不採択となるには相当の理由があると考えられる。事業者が国の事業に申請するに当たり、市の補助金があるからと安易に計画を作ることなく、本来の目的が達成できるよう取り組まれたい。

**◎委員の意見**  
 旧大野簡易裁判所の解体工事に係る経費と、解体後の庭園部分を含めた跡地を(仮称)湧水地散策広場として整備するため

**◎理事者の説明**  
 旧大野簡易裁判所の解体工事に係る経費と、解体後の庭園部分を含めた跡地を(仮称)湧水地散策広場として整備するため

**◎委員の意見**  
 最善の方策で遅滞ない解決を求める。

どにより、修学旅行が中止となった場合のキャンセル料や修学旅行の貸し切りバス代の補助、また、7月豪雨による尚徳中学校のグラウンド排水工事費等や保育業務支援システム整備費補助、和泉地区の保育園、小中学校の給食運搬に係る経費などを計上している。



旧大野簡易裁判所

**◎委員の意見**  
 和泉地区への給食食材運搬について、より効率的な方法を検討されたい。学校施設は災害時の避難所であるため、施設点検を励行し、適切な管理をされたい。

**◎理事者の回答**  
 土地所有者との交渉もあり、移設が現状維持かの検討段階まで踏み込めていない。慎重に議論を重ね、計画を進めたいと考えている。

**◎委員の意見**  
 子ども子育て支援策にあっては、子どもや保護者の安心を第一に考え、気持ちに寄り添ったきめ細やかな事業展開を要望する。

**◎理事者の説明**  
 市民への接種は順調に進んでおり、現在のペースで進めば、10月末には対象者の8割以上の接種完了を見込んでいます。

教育民生

(廣瀬委員長、野村副委員長、木戸屋、廣田、堀田、高田)

湧水地散策広場整備事業

◎理事者の説明

旧大野簡易裁判所の解体工事に係る経費と、解体後の庭園部分を含めた跡地を(仮称)湧水地散策広場として整備するため

**◎委員の意見**  
 最善の方策で遅滞ない解決を求める。

子ども・子育て支援事業

◎理事者の説明

今回の補正では、新型コロナウイルスの影響な

**◎委員の意見**  
 最善の方策で遅滞ない解決を求める。

**◎理事者の説明**  
 市民への接種は順調に進んでおり、現在のペースで進めば、10月末には対象者の8割以上の接種完了を見込んでいます。

**◎委員の意見**  
 最善の方策で遅滞ない解決を求める。





新型コロナウイルスワクチン (イメージ)

9月18日に1回目の接種を行う日程を集団接種の最後とし、今後は、医療機関での個別接種により接種を進めたい。

◎委員の質問

個別接種によるワクチンロスへの対応策はあるのか。

◎理事者の回答

接種できる医療機関を減らす方向で医師会と相談していきたい。

◎委員の質問

ワクチンの接種済み証について対応する準備はあるのか。

◎理事者の回答

接種済み証の紛失に対応するため再交付ができるよう体制整備をしている。

◎委員の意見

引き続き、コロナの感染対策はもとより、ワクチン接種に対する偏見や差別を生まないよう周知啓発に努められたい。

▽総務生活

(高岡委員長、榮副委員長、林、ダニエル、梅林、永田)

災害に強いまちづくり

◎理事者の説明

B & G財団からの寄付や助成を受けて、油圧シヨベル、救助艇、ドローン、トラック、格納庫などの災害対応資機材を整備する。併せて、災害現場の実務研修などにも参加し、災害に備える。

◎委員の意見

国から防災道の駅に選定された「越前おおの荒島の郷」とともに、整備する機材や人材の能力を十分に生かして、災害に強いまちづくりに努められたい。

COCONOアートプレイスの今後

◎理事者の説明

企画展の開催などで観



COCONOアートプレイス

覧者の増加を図っているが、コロナ禍において、まちなかの観光客が少なく、思うように増えていない。

また、施設内の喫茶を運営する法人から、10月末で喫茶撤退の申し出がある。これについては了承する意向である。

◎委員の意見

今回の喫茶撤退を機に、施設の基本コンセプトを再考されたい。その上で、施設の費用対効果を高められるよう、管理運営の方法についても抜本的に見直されたい。

他の市施設についても、管理運営の見直しを鋭意

実施されたい。

債権管理の強化

◎理事者の説明

令和4年度から、保険料や使用料などの市が有する債権のうち、徴収が困難な案件など一定の要件を満たす税外債権の管理及び回収を税務課に移管し一元化を図ることに

所管調査

本年6月に、国土交通省の防災道の駅に選定された「越前おおの荒島の郷」の所管調査を行い、担当部署からの説明を受けながら、災害時に稼働させるための自家発電設備化する。

◎委員の意見

債権管理の一元化に向けて、しっかりとした体制づくりを行い、未納や不能欠損が発生しないよう努められたい。



道の駅「越前おおの荒島の郷」

令和3年9月第425回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名
76	令和3年度大野市一般会計補正予算(第5号)案
77	令和3年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)案
78	令和3年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)案
79	大野市新型コロナウイルス感染症伴走支援資金利子補給金基金設置条例案
80	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく承認地域経済牽引事業計画に従って設置される施設における市税の特例に関する条例の一部を改正する条例案
81	大野市手数料条例の一部を改正する条例案
82	大野市立農村集落多目的共同利用施設設置条例の一部を改正する条例案
83	大野市木材工芸品加工施設設置条例を廃止する条例案
84	市道路線の認定について
89	固定資産評価審査委員会委員の選任について
90	人権擁護委員候補者の推薦について
7	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について
8	地方財政の充実・強化を求める意見書について
9	コロナ禍における米価下落対策を求める意見書について

全会一致で可決・同意された議案

- ◎次の議案は、全会一致で継続審査となりました。
- 議案第85号 令和2年度大野市歳入歳出決算認定について
  - 議案第86号 令和2年度大野市水道事業会計の決算認定について
  - 議案第87号 令和2年度大野市簡易水道事業会計の決算認定について
  - 議案第88号 令和2年度大野市下水道事業会計の決算認定について

# 特別委員会 報告

## ▼人口減少対策特別委員会

(伊東委員長、木戸屋副委員長、廣瀬、ダニエル、堀田、高田、永田、榮)

### 移住定住の促進

#### ◎委員の質問

コロナ禍で、地方回帰の流れが大きくなっているこの機に、移住定住増加につなげる施策は何か。

#### ◎理事者の回答

子育て世代に向けた支援、市民の健康づくり、移住者受け入れの環境整備に特に力を入れている。

#### ◎委員の意見

移住定住促進のためには、就職情報など本市の受け入れ環境についても情報発信の強化に努められたい。

本市の人口減少の現状を市民と共有し、「わが事」と捉えていただき、市全体で危機感を持って人口問題を考えられたい。

#### ◎理事者の回答

情報共有の必要性は認識している。その上で、市外から見て、行ってみたい、住んでみたい魅力的な市だと感じられるような情報発信を検討したい。

#### 妊産婦への支援

#### ◎委員の意見

妊産婦への支援として、越美北線の利用促進も絡め、妊婦が健診に出掛ける際に、越美北線を利用した場合、降車駅から病院までのタクシー代補助を検討してはどうか。

多胎児支援として産後の外出時や健診時の同行支援があるとよいのではないか。

#### 子育て支援策の今後

#### ◎理事者の説明

大野市子ども子育て会議において、子育て支援策についての今後の方向性や改善点など、意見やアイデアを募り、これらの意見を次年度以降の事業に反映したい。

#### ◎委員の意見

事業内容が、県内トップクラスであることも大事だが、それよりもまずは、子どもや保護者の要望を尊重し、当事者にとって使い勝手のよいものとなるよう改良されたい。

#### 12月議会のテーマ

「新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の総括

#### ▼未来へつなぐまちづくり特別委員会

(川端委員長、白崎副委員長、林、松本、廣田、野村、梅林、畑中)

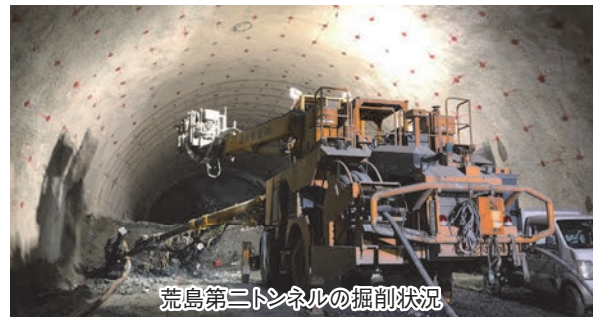
#### 中部縦貫自動車道の工

#### の状況

#### ◎理事者の説明

大野油坂道路に建設される各トンネルの掘削状況は、8月末現在で、荒島第二トンネルは約67割、和泉トンネルは約58割、川合トンネルは約54割、新長野トンネルは約57割などとなっている。

#### ◎委員の意見



荒島第二トンネルの掘削状況

会のホームページで体験メニューの紹介を行っていく。

#### ◎委員の意見

ホームページをさらに見やすくなるよう工夫するなどして、積極的なPRに努められたい。インバウンド対応として、市内事業所のキャッシュレス化促進策や、コロナ禍が落ち着いた頃にやってくるであろう外国人来訪者に陽性反応が出た場合にも備えられたい。

令和4年度に予定されている中部縦貫自動車道大野油坂道路の大野・和泉間の開通によって、市道などの除雪が後回しになり、市民が今よりも不便を感じることはないよう、各道路管理者等と事前によく協議し、万全な体制を整えられたい。

#### 秋からの観光振興施策

#### ◎理事者の説明

11月から、「おおのまるごと満喫お得キャンペーン」を実施し、体験メニューを提供する事業者等への支援や、市や観光協

## 会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や議会図書室で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。

また各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。

ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

## 編集後記

今年も残り2カ月となりましたが、今年こそはとの期待の中で迎えた令和3年も新型コロナウイルス感染症でさまざまな影響が続いています。

9月は、中学校では体育祭や文化祭が、小学校でも体育大会が規模を縮小して開催され、さまざまな制約がある中でも全力で取り組む子どもたちの姿に感動しました。感染拡大の防止に気を使いながらも、これらの行事の実施に向けてご尽力いただいた教職員の方々に感謝申し上げます。

ワクチン接種後のブレイクスルー感染やブースター接種等まだまだ不安はありますが、「令和4年」こそは……  
(座長 白崎 貴之)

#### 議会だより編集委員会

委員 白崎 貴之  
木戸屋八代実  
野村 勝人  
川端 義秀  
高岡 和行

※次回は、1月下旬の発行を予定しています。